

人・まち・環境にやさしい輸送サービスの向上を目指して

平成22年度 鉄道事業設備投資計画

投資額 215億円

平成22年度に鉄道事業で215億円の設備投資を実施し、7月17日の成田スカイアクセス開業に向けた諸準備や引き続き安全輸送の確保やお客様サービスの向上に努めてまいります。

今年度は、成田スカイアクセス開業に向けて新型スカイライナーや3050形車両を導入するほか、高砂駅金町線高架化等の諸施設を完成させます。また安全対策の強化として、連続立体化工事やデジタルATS（自動列車停止装置）への更新、地震等の災害対策として鉄道施設の耐震補強等を継続して行います。またお客様サービスの更なる向上を目指し、バリアフリーへの対応等を実施し、より安全・快適に当社線をご利用いただけるよう取り組んでまいります。



在来線では最速となる160km/hで試験走行する新型スカイライナー

平成22年度 鉄道事業設備投資計画について

1. 投資額 215億円

2. 概要

(1) 成田スカイアクセス開業関連

①成田スカイアクセス用車両の導入

最高時速160kmで運行する新型スカイライナーのほか、一般特急列車として使用する3050形車両を導入します。

②高砂駅金町線高架化工事の完了

現在の運行本数を維持しつつ、成田スカイアクセスの運行本数を確保するため、平成18年度から金町線の高架化工事に着手しております。

今年度は新線への切替えを行い、新ホームでの営業を開始します。

③京成上野駅のリニューアル

当社の起点である京成上野駅のライナーカウンターや正面看板を成田スカイアクセス開業に合わせてリニューアルします。

④お客様へのわかりやすいご案内の取り組み

空港第2ビル駅・成田空港駅の両駅において、本線と成田スカイアクセスの2路線をわかりやすくご案内するため、カラーリングを分けたゲートをコンコースに設置します。また主要駅に設置しているフルカラーLEDによる案内表示器を2駅に設置します。

(2) 安全対策の強化

①連続立体化工事の推進

- ・墨田区内連続立体化工事（押上～八広間1.5km）
上下線の仮線への切替え、仮上り線ホーム築造、高架橋新設工事等を実施します。
- ・葛飾区内連続立体化工事（四ツ木～青砥間2.2km）
用地買収等を実施し、事業の推進を図ります。

②災害対策の推進

大規模地震や強風等の自然災害に対する対策の強化を図るため、今年度も継続して高架橋や駅部の耐震補強工事のほか、風速計の更新を実施します。

③ATS（自動列車停止装置）の機能向上

列車の安全運行をより確実なものとするため、今年度も引き続き、より保安度の高いデジタルATSへの更新を進めます。

④車両への安全装置の設置

車両の安全対策として、運転士に異常が発生した場合、列車を自動的に停止させる運転士

異常時列車停止装置の改良（31編成）や、事故等の異常が発生した場合、付近の列車に一斉に停止を促す無線（防護無線）の電源二重化工事（15編成）を実施します。

⑤ 駅構内の安全対策の強化

ホームからの転落事故への対策として、今年度も引き続き非常通報ボタン装置を4駅に設置します。

⑥ 踏切の安全対策の強化

踏切事故未然防止のため、自動障害物検知装置の更新（3箇所）、踏切支障報知装置の新設（5箇所）等を実施します。

⑦ 軌道・土構造物の強化

軌道の整備や法面の補強等を計画的に実施します。

（3）サービスの向上

① エレベーター、スロープ、多機能トイレの設置

当社では、全てのお客様により安全・快適に駅をご利用いただけるよう駅施設のバリアフリー化を進めております。

◇エレベーター設置駅・・・船橋競馬場駅、実籾駅、八千代台駅、勝田台駅、京成臼井駅、京成酒々井駅

◇スロープ設置駅・・・京成大久保駅、京成稲毛駅

◇多機能トイレ設置駅・・・京成大久保駅

② 駅構内触知図の設置

目の不自由なお客様にも安心して駅をご利用いただけるよう、駅構内触知図を5駅に設置します。

③ 駅諸設備の改良

駅ホームや駅トイレの改修のほか、車いすをご利用のお客様にも安心して駅をご利用いただけるよう、幅広型自動改札機を6駅に設置します。

（4）環境対策等

環境にやさしいクーラーへの交換推進

車両のクーラーの冷媒として使用しているフロンについて、オゾン層を破壊しない代替フロンへの交換を推進しており、今年度は8両について交換を実施します。

以上